

足軽・辻番所サロンで 見えてきた「歴史まちづくり」

瀧谷家資料からは、足軽組屋敷で生きた人々の人生や経済状態、さまざまな事件などがうかがえ、復元された足軽屋敷にも活かすことができます。

足軽・辻番所サロンの成果

足軽・辻番所サロンでは、足軽組屋敷の敷地や建物の特色、そこに暮らした足軽と家族の変遷、家計の状況、足軽の仕事や組織と掟、昭和の暮らしなどを、専門家の協力を得ながら掘り起こしてきました。

さらに、足軽組屋敷と1間半の路地がつくり出した都市の原風景とも言うべき景観について、現代における価値を再評価し、「路地」を生かしたまちづくりをどう進めるか、その際に課題となる災害に対する備えをどうするか、若者も住みたいと思うコンパクトで人間的な絆が息づくコミュニティをどうつくるかなどを議論してきました。

2つの足軽屋敷から見えてくること

住むことで再び活かされる吉居家、文化財として過去の人々の暮らしや人生に触れる場に活かされる辻番所・足軽屋敷。2つの実例が生まれたことは、歴史まちづくりにとって大きな一歩といえます。

どのような形であれ活用されない建物は存続できなくなる。これは経験から得た教訓です。地域に埋没する資源を活用するには、現代、そして未来における意味を発見し、価値を創造することが欠かせ

ません。こうした価値は、見ようとしなければ見えないもので、意識的に行う必要があります。そして、活用によっては人々に感銘を与える地域の宝になり、さらには未来を育てる種になるのではないでしょうか。（堀部 栄次）

多賀里の駅・野菜市&集い

4月6日（土）9時からの野鳥の森植物観察会では、指導員の中川信子さんの案内でショウジョウバカマの花に出会うことができました。



10時30分からの集い54は、「多賀町古代ソウ発掘プロジェクト」について、阿部勇治さん（多賀町立博物館 学芸員）が紹介されました。これは、びわこ放送（BBC）のアミンチュ制作委員会と多賀町立博物館の共同企画で、180万年前の古琵琶湖層群からアケボノソウを見つけようという一般参加型のプロジェクトです。

試食会は「春の野草料理を楽しもう」。ニワトコ、ノビル、シャク、ヤブカンゾウ、ヤブツバキをてんぷらなどで楽しみました。



彦根景観フォーラム 入会のご案内

彦根景観フォーラムは、まちづくりを楽しむNPOです。大学教員、建築家、会社員、商店主、公務員などが集まり、知恵と力を合わせて活動しています。年会費 6,000 円 詳しくは事務局まで。

● **ブログ** <http://hikonekeik.exblog.jp>（彦根景観フォーラムで検索）

● **定例会** 毎月第3金曜日 午後7時～9時 ひこね街の駅「戦国丸」誰でも自由に参加できます。

● **お問合せ**：彦根景観フォーラム事務局 TEL 080-1416-5968 FAX 0749-27-1431

E-mail: hikonekeikan@hotmail.com まで



きらっと彦根 vol. 32

彦根の魅力 ★ 再発見

彦根まちづくり誌 2013年5月1日 通巻32号 編集/発行 NPO法人 彦根景観フォーラム

それぞれの彦根物語 100回記念講演・交流会

参加者が彦根の魅力を語りあう「談話室・それぞれの彦根物語」が、4月20日(土)、彦根市河原二丁目の「ひこね街の駅・寺子屋カ石」でありました。記念すべき100回目は、滋賀県立大学の柴田いづみ名誉教授が講演し、市民ら約35人が参加しました。

談話室は、彦根景観フォーラムが2006年5月にスタートさせ、毎回、さまざまな活動を行っている市民や経営者、大学教授や学生などが、それぞれの視点で彦根の魅力を紹介し、彦根に生きる楽しみを共有してきました。

まちづくりに若い力の活用を

この日は、彦根景観フォーラム副理事長でもある柴田さんが「まちづくりのかたち」をテーマに、滋賀県立大学の学生たちの取り組みや耐震まちづくりの成果を紹介されました。



学生たちは、1998年から十年間、彦根市銀座商店街の空きビルを改装し、さまざまなイベントやファッションショー

を実現させました。また、近江八幡市でも、空き町家を改修してコミュニティカフェを開設、子供たちとまちの魅力を発掘・発信する活動を行っています。

柴田さんは、「学生たちにまちづくりの初動エネルギーを借りて、彼らのやりたいという熱意とまちの協力があったからこそ実現したイベントでした」と振り返り、活動を地域で継続させる大切さについて「箱物施設は学生だけで運営するより、地域の人にも活用してもらうことが大切」と話されました。



100人の語り部に感謝をこめて

午後から開催された交流会では、これまで彦根物語で発表された「語り部」が、各回ごとの紹介スライドを見ながら、当時の思い出や近況を語り、なつかしく楽しい時間を過ごしました。

最後に、会場の準備や企画・広報・記録を担当していただいた彦根景観フォーラム会員の畑中真知子さん、江竜美子さんに花束を贈呈し、参加者全員で記念写真を撮って、7年間100回を祝いました。



特集：**足軽遺産を守り、活かし、育てる**

「足軽・辻番所サロン」で見えてきた「歴史まちづくり」

● **多賀里の駅・野菜市&集い**

多賀古代象発掘プロジェクト
春の野草料理を楽しもう